

# 2016年3月期 第2四半期決算説明会

---

2015年11月9日



プラスチック・ソリューション・カンパニー  
積水化成工業株式会社

# 2015年度上期決算概要

単位：億円

	2014年度 上期実績 (A)	国外会社 1-3月	2014年度 上期実質実績 (B)	2015年度 上期計画 (C)	2015年度 上期実績 (D)	前年同期対比 (実質実績対比) (D) - (B)	計画対比 (D) - (C)
売上高	575.5	31.7	543.8	565.0	500.4	<b>△43.4</b> <△8.0%>	<b>△64.6</b>
営業利益 (営業利益率)	14.1 (2.5%)	0.3	13.9 (2.5%)	22.5 (4.0%)	22.8 (4.6%)	+8.9 <+64.4%>	+0.3
経常利益	15.5	<b>△0.1</b>	15.6	20.5	19.3	+3.7 <+23.8%>	<b>△1.2</b>
親会社帰属 四半期純利益	8.6	<b>△0.1</b>	8.7	13.5	11.8	+3.1 <+35.5%>	<b>△1.8</b>

※2014年度より国外グループ会社の決算期を日本と合わせるため、2014年度の国外グループ会社は15ヵ月決算

**前年同期比・計画比とも減収、営業利益は前年同期・計画とも増益**

- ・生活分野は販売単価ダウンもスプレッド確保し増益
- ・工業分野はテクポリマーの苦戦とグローバル減速

**経常利益・当期利益は、為替差損発生で計画届かず（当期利益は上期過去最高更新）**

# 工業分野業績

単位:億円

	2014年度 上期実績 (A)	国外会社 1-3月	2014年度 上期実質実績 (B)	2015年度 上期計画 (C)	2015年度 上期実績 (D)	前年同期対比 (実質実績対比) (D) - (B)	計画対比 (D) - (C)
売上高	226.1	31.7	194.3	230.0	189.5	△4.8 <△2.5%>	△40.5
営業利益 (営業利益率)	11.8 (5.2%)	0.3	11.5 (5.9%)	16.4 (7.1%)	13.9 (7.3%)	+2.4 <+20.3%>	△2.5
経常利益	9.6	△0.1	9.6	14.0	9.7	+0.1 <+0.7%>	△4.3

## <家電・IT関係>

- ・「ピオセラン」等を用いた液晶パネルなど搬送資材において、中国・台湾での新規受注効果も、上期後半需要一巡で伸び悩み。
- ・「テクポリマー」は液晶パネルなど光拡散分野において、顧客の生産調整長期化で減少。

## <自動車関係>

- ・「ピオセラン」等を用いた部材用途において、日本・米国など着実に採用が拡大。
- ・部品搬送資材用途においては、日本やアジア各国の需要が低調。

経常利益は新興国通貨下落の影響を受ける。

# 生活分野業績

単位:億円

	2014年度 上期実績	2015年度 上期計画	2015年度 上期実績	前年 同期比	計画比
売上高	349.5	335.0	310.9	<b>△38.6</b> <△11.0%>	<b>△24.1</b>
営業利益 (営業利益率)	12.0 (3.4%)	16.4 (4.9%)	19.4 (6.2%)	+7.4 <+61.2%>	+3.0
経常利益	7.9	11.0	14.4	+6.5 <+82.1%>	+3.4

- ・ 食品・流通関連は食品トレー用途復調増、カップめん用途も堅調。(PSP)
- ・ 水産関連は引き続き低調、農産関連は堅調。(EPS)
- ・ 建材・土木関連は復興需要一巡など需要低調。(EPS)
- ・ EPSはライフグッズ用ビーズ好調で需要減をカバー。
- ・ 販売単価ダウンや仕入商品減で売上減も、スプレッドの改善やCR効果で利益増。

# 2015年度下期修正計画概要

単位:億円

	2014年度			2015年度					
	年間実績 (A)	国外会社 1-3月	年間 実質実績 (B)	上期 実績	下期 修正計画	年間 当初計画 (C)	年間 修正計画 (D)	前年度対比 (実質対比) (D) - (B)	当初計画 対比 (D) - (C)
売上高	1136.6	31.7	1104.9	500.4	639.6	1200.0	1140.0	+35.1	△60.0
営業利益	39.3	0.3	39.0	22.8	28.2	50.0	51.0	+12.0	+1.0
(営業利益率)	(3.5%)		(3.5%)	(4.6%)	(4.4%)	(4.2%)	(4.5%)		
経常利益	41.8	△0.1	41.9	19.3	27.7	47.0	47.0	+5.1	-
親会社帰属 当期純利益	25.3	△0.1	25.4	11.8	18.2	30.0	30.0	+4.6	-
(ROE)	(4.6%)		(4.6%)			(5.1%)	(5.2%)		

重点施策のスピードアップで売上前年クリア、利益は当初計画達成にこだわりを持って取り組む。

# 2015年度下期修正計画・・・工業分野

単位:億円

	2014年度			2015年度					
	年間実績 (A)	国外会社 1-3月	年間 実質実績 (B)	上期 実績	下期 修正計画	年間 当初計画 (C)	年間 修正計画 (D)	前年度対比 (実質対比) (D) - (B)	当初計画 対比 (D) - (C)
売上高	434.6	31.7	402.8	189.5	265.5	495.0	455.0	+52.2	△40.0
営業利益 (営業利益率)	27.4 (6.3%)	0.3	27.2 (6.7%)	13.9 (7.3%)	20.1 (7.6%)	37.0 (7.5%)	34.0 (7.5%)	+6.8	△3.0
経常利益	22.9	△0.1	22.9	9.7	16.8	31.0	26.5	+3.6	△4.5

グローバルで拡充している成形加工拠点をフル活用し、拡販スピードアップ施策を実行。

- ・「ピオセラン」は開発改良品をグローバル展開。日本・国外での自動車部材採用拡大と液晶パネル搬送資材の新規開拓。
- ・「テクポリマー」は顧客ニーズ対応の品種改良継続と、産業用LED照明成形品の拡販。
- ・CFRPと発泡体との複合構造部材・「テクヒーター」(融雪ヒーター)など開発商品の早期拡大。

# 2015年度下期修正計画・・・生活分野

単位：億円

	2014年度	2015年度					
	年間実績	上期実績	下期修正計画	年間当初計画	年間修正計画	前年度対比	当初計画対比
売上高	702.0	310.9	374.1	705.0	685.0	△17.0	△20.0
営業利益 (営業利益率)	29.8 (4.2%)	19.4 (6.2%)	19.6 (5.2%)	33.0 (4.7%)	39.0 (5.7%)	+9.2	+6.0
経常利益	20.8	14.4	14.6	23.0	29.0	+8.2	+6.0

- ・ スチレン系原料と他原料との価格差を活かし、他素材からの切り替え。
- ・ 「生活資材事業部」と地域グループ会社が協働して、地場産品など地域ニーズの掘り起こし。
- ・ 高断熱EPSや機能性シートなどの新製品、養殖産業などCSチームでの関連商品拡販をスピードアップ。
- ・ 原燃料価格の先行き不透明のため、柔軟な製品価格対応を行う。
- ・ 地域代表会社の成形加工体制強化による付加価値向上、省エネ等コストダウン継続。

# 設備投資の状況（検収ベース）

単位：億円

	2014年度 年間実績	2015年度					
		上期実績	下期修正 計画	年間当初 計画	年間計画	前年度 対比	当初計画 対比
設備投資 (うち土地)	59.1 (7.9)	23.5 (1.8)	19.5 (0.3)	41.5 (1.0)	43.0 (2.1)	△16.1 (△5.8)	+1.5 (+1.1)
減価償却費	40.0	19.0	21.0	42.0	40.0	±0.0	△2.0

## <2015年度上期完工設備>

- （インドネシア）成形加工工場新設
- （米国）オハイオ成形加工工場新設
- （メキシコ）成形加工工場土地購入（メキシコ中部 グアナファト州）

## <2015年度下期完工設備>

- （日本）中部地区EPS成形工場譲受  
（10月1日 化成品中部 飯田工場設立）

# 配当について

単位:円

2014年度			2015年度			
中間	期末	合計	中間	期末(予)	合計(予)	前年対比
3.5	5.5 (普通配5.0) (記念配0.5)	9.0 (普通配8.5) (記念配0.5)	5.0	5.0	10.0	+1.0
配当性向 33.2%			配当性向 31.2%			

## <株主還元方針>

- ・配当については、連結配当性向30~40%をメドとするが、株式市場や業績の動向も踏まえ総合的に判断する。
- ・自己株取得については、株式市場環境や資本の状況も勘案して、機動的・弾力的に実施する。

**本資料は、決算説明会当日配布した資料の抜粋版です。**

**本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。**